

ナース・プラクティショナー (仮)制度創設の必要性



社会医療法人 北農会

恵み野訪問看護ステーション「はあと」

管理者 樋口秋緒

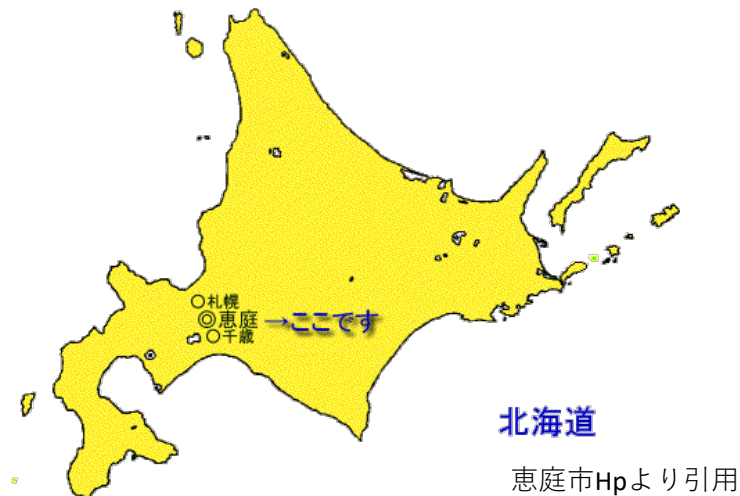
プライマリ・ケア分野 大学院NPコース修了者₁

地域の紹介 北海道恵庭市

人口:約70000人

世帯数:約31000戸

高齢化率:約27.4% (国28.5 道31.4)



札幌のベッドタウンで人口微増しているが、
高齢独居も多い

在宅療養支援診療所1か所(医師2名)

市内及び両隣市には

- ・200床以上の病院がない
- ・緩和ケア病床がない



社会医療法人 北農会

恵み野訪問看護ステーション「はあと」

市内唯一199床の一般急性期病院
を母体に持つステーション

地域療養者(訪問看護利用者)の特徴

- ・ 医療ニーズが高い状態で退院している
- ・ 札幌など市外の病院に主治医がいて通院している
- ・ 外来待ち時間が長く混雑するので外来に行きたくない
- ・ 総合診療医がない(専門科)ので何科に罹るか迷っている
- ・ 併科受診で1日かかり
- ・ 主治療の医師と訪問看護指示書医は別?
- ・ がん末期では緩和ケア病院や在宅者が少なく選択肢が限られる

地域特性と医療の関係

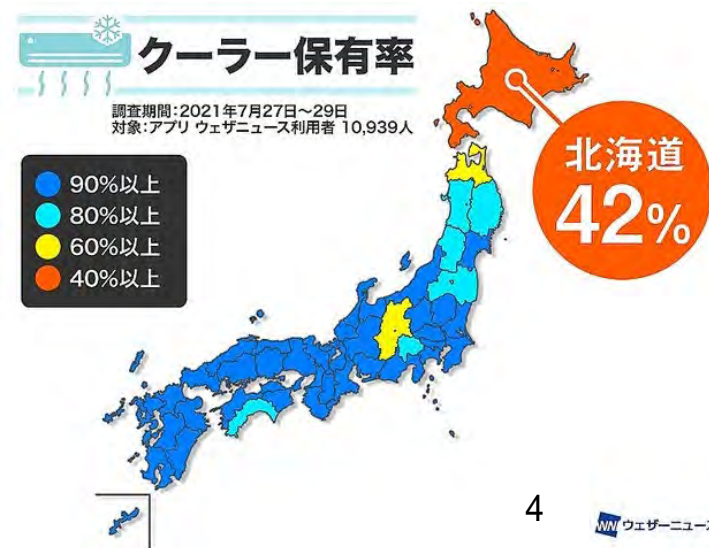
北海道の冬は長くて厳しく 夏の暑さは苛酷



吹雪、氷点下 30°C にもなれば電車も止まる
冬の受診は天候悪化で予定通りにいかない



気温が 33°C ↑になる日もある
エアコンのない家や施設
(しかも気密性が高い建築が主)
が多く、脱水で搬送が多い



北海道の半年は「冬」 雪が降る



札幌市
すすきの通り

札幌市
すすきの通り



札幌市
すすきの通り



※写真は個人所有 使用許諾有

今年2月6日の記録的大雪では全面運休2日間
除雪が追いつかず平常ダイヤに戻るのに1週間かかっている₅

冬の訪問は結構厳しいけど 患者の通院はもっと厳しい



車の雪かき



患者の通院

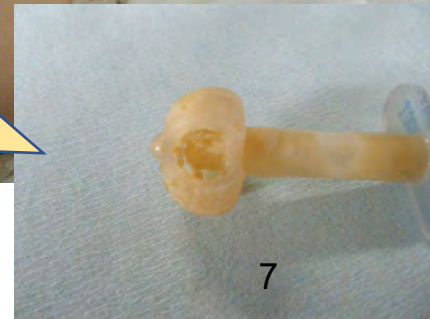
受診の「手段」が閉ざされても
訪問看護は出動する

そこで特定行為研修の効果を発揮

膀胱瘻カテーテル交換
在宅で交換。カテーテル汚染・
尿量・尿性状を観察して、閉塞
前に交換することで、救急搬送
ゼロになり、介護者の安心した
顔も見れるようになった。



胃瘻カテーテルを
バンパーからバル
ンタイプに変更し、
毎月交換・管理す
ることで、
苦痛もトラブルも
なくなった。



特定行為の実践 利用者さんや介護者さんへの効果は 「大」

気管切開・ペグ利用の全介助・老々介護のBさん

家で管を替えてくれるおかげで、冬に受診する心配がなくなった。病気の相談も出来て安心して暮らせるようになったよ。

気管切開している車椅子利用のAさん



本人承諾済み



患者さんはこんな日でも
病院に行かなくては
ならない



しかし
現実には



こんなに混んでいたって
処方のために何時間も
待たなくてはいけない



現実

在宅の現場には

「現行制度では対応できない
医療ニーズ」がたくさんある

クリニックから寝たきりの高齢
女性への訪問依頼
「むくみが出て利尿剤が処方され
たので体調を見てほしい」

指示書には処方薬ぐらい
しか記載がない

訪問すると仙骨や外踝に「褥瘡」
連絡してもクリニックは閉院

持っている創傷被覆材でケア開始
褥瘡評価・栄養評価・全身状態のアセスメント
⇒明日からどうする？



現実

特定行為で脱水の判断しても
すべき点滴がない

褥瘡のステージの判断しても
必要な薬剤・医材がない

排泄コントロールの必要性が解っても
緩下剤や浣腸がない

訪問時の訴えや観察で膝腰痛のアセスメントしても
湿布や鎮痛剤がない

訪問看護で症状コントロールしていても
定期受診しなければ薬はなくなる

みんな受診が必要

在宅で生じる
特定行為研修制度では賄えない、
対応できない医療ニーズは

ナース・プラクティショナー(仮称)
が制度化されることで、
暮らしに必要な

「タイムリーな対応」

ができれば在宅療養者のニーズを満
たせることはたくさんある

ナース・プラクティショナー(仮称)

～NPコース教育 7つのコンピテンシー～

- ① 包括的な健康アセスメント能力
- ② 医療的処置マネジメント能力
- ③ 熟練した看護実践能力
- ④ 看護管理能力
- ⑤ チームワーク・協働能力
- ⑥ 医療・保健・福祉システムの活用・開発能力
- ⑦ 倫理的意思決定能力

ナース・プラクティショナー(仮称) として必要な教育は大学院で学ぶ

今後、さらに地域で療養する人々は増える
安心して暮らし、タイムリーなケアが受けられる
そのために

ナース・プラクティショナー（仮称）制度のよう
な、従来の看護師の裁量を超える役割を担える
新たな看護の資格は必要と考える